事例No.	1439
公表年度	R3
団体の属性	町村
団体名	北海道興部町

事例区分	一般行政

タグ	・新たな政策手法の確立・活用 ・税財政 ・人材確保・育成

事例種類	木材利用・普及啓発

事例内容・タイトル

SDG ｓ 脱プラ対策の 実施

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

北海道　興部町（SDGs脱プラ対策の実施）

- 興部町では、森林環境譲与税を活用して、私有林の間伐等の森林整備の推進や人材育成に取り組むとともに、税の創設を契機に、木材利用や普及啓発活動を通じ住民への森林整備への理解の醸成に取り組んでいく方針である。
- 木材利用・普及啓発活動については、令和２年度は、以下の取組を行った。
  - 興部町は管内でも有数な酪農地帯である。アイスクリームやチーズなどの乳製品を販売している店舗が多くあることから森林環境譲与税を活用し、プラスチックなどのスプーンから木製スプーンに転換する際の掛かり増し経費に対し助成を行った。

□　事業内容

木材利用・普及啓発

- 興部町の一次産業は農業であり、町内にはアイスクリームやチーズなどの乳製品を販売している店舗等が多くあり、全ての店舗などでプラスチック製のスプーンを利用していることから、森林環境譲与税を活用し町内のアイスクリーム販売店舗へプラスチックから道産材で製作した木製スプーンへの転換を推進し、掛かり増し経費の助成を行った。
- 木製スプーンに各店舗ごとのオリジナルロゴを刻印することで店舗のPRやSDGｓの推進にも繋がるとともに、木材利用・木材の普及啓発につとめる。
- 令和２年度は各店舗へ10,000本を購入

【事　業　費】962千円（うち譲与税961千円）

（譲与税は、プラから木製へと転換する際の掛かり増し経費）

【実　　績】5店舗×各10,000本　～　50,000本



（木製スプーン）



（シラカバのカップ）

□　工夫・留意した点

- この事業は、木材利用・普及啓発になることから、各店舗に地域材（シラカバ）を刳り貫いたカップに木製スプーンを入れ販売ブースに置くことで来場者（来客）が自由に取ることが出来るようにした。
- 今後、木製スプーンを製造する際に、興部町の森林認証材を活用することで、地材地消の取組として森林整備に貢献するとともに地域の木製品の利用促進を目指す。

◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	26,126千円
②私有林人工林面積（※１）	6,682ha
③林野率（※２）	79%
④人口（※３）	3,909人
⑤林業就業者数（※３）	46人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より